【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-179557(P2003-179557A)
【公開日】平成15年6月27日(2003.6.27)
【出願番号】特願2002-237297(P2002-237297)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｂ　10/10
　Ｈ０４Ｂ　10/105
　Ｈ０４Ｂ　10/22
　Ｈ０４Ｊ　15/00
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｂ　 9/00　　Ｒ
　Ｈ０４Ｊ　15/00

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月27日(2004.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　空間分割多重化ビームライン（１０、４０）を介して光学的に相互接続された複数の処理装置（１３８、１４０、１４２、１４４）からなる蓄積プログラム制御システムで用いる方法であって、
　複数の個別のコリメートビームを生じる前記空間分割多重化ビームラインのそれぞれの部分空間を同時に占有する個別のサブチャネル（１５０）上で前記複数の処理装置に対するメッセージを光学的に符号化するステップと、
　前記包囲体内に前記空間分割多重化ビームラインに沿って配置され前記個別のサブチャネルのそれぞれと関連付けられたそれぞれの送信用プローブ（１４）で、単一の細長い包囲体（２２）に包含された前記個別のビームを送信するステップと、
　前記包囲体内に前記空間分割多重化ビームラインに沿って配置され前記個別のサブチャネルのそれぞれと関連付けられたぞれぞれの受信用プローブ（１８）で、単一の細長い包囲体（２２）に包含された前記個別のビームを受信するステップと、
　１またはそれ以上の前記ビームを復調して前記メッセージを再生するステップとからなることを特徴とする方法。
【請求項２】
　請求項１に記載の方法において、前記受信するステップは、前記個別のサブチャネルのそれぞれに対応する複数の受信用プローブを有するハブアレイ（３１０）で、複数の前記個別のビームを受信するステップからなることを特徴とする方法。
【請求項３】
　請求項１に記載の方法において、前記受信するステップは、前記個別のビームをサポートするのに必要な場所を最小にする螺旋構造に配置された複数の受信器（１６）によって、前記細長い包囲体内で個別のコリメートビームを受信するステップからなることを特徴とする方法。
【請求項４】
　請求項１に記載の方法において、前記送信するステップは、前記個別のサブチャネルの

それぞれに対応する複数の送信用プローブを有するハブアレイ（３１０）で、複数の前記個別のビームを送信するステップからなることを特徴とする方法。

【請求項５】

請求項１に記載の方法において、前記送信するステップは、前記個別のビームをサポートするのに必要な場所を最小にする螺旋構造に配置された前記細長い包囲体内のコリメートビームを送信するステップからなることを特徴とする方法。

【請求項６】

空間分割多重化ビームライン（１０、４０）を介して光学的に相互接続された複数の処理装置（１３８、１４０、１４２、１４４）からなる蓄積プログラム制御システムで用いる装置であって、

前記空間分割多重化ビームラインのそれぞれの部分空間を同時に占有する個別のサブチャネル（１５０）上で前記複数の処理装置に対するメッセージを光学的に符号化するよう配置され構成された複数の送信用プローブ（１４）からなり、前記空間分割多重化ビームラインに沿って送信され、そして細長い包囲体（２２）内に包含された複数の個別のビームを生じ、さらに、

前記個別のビームを受信し復調して前記メッセージを再生するよう構成された、前記包囲体内に配置された複数の受信用プローブ（１８）とからなることを特徴とする装置。

【請求項７】

請求項６に記載の装置において、前記送信用プローブが、前記細長い包囲体内に配置され、前記個別のビームをサポートするのに必要な場所を最小にする螺旋構造に個別のコリメートビームを生成することを特徴とする装置。